

Green Festival

第313回

5月21日(土) 15:00 開演

● 平野玲音 (チェロ)
村本麻里子 (ピアノ)

デュオの午後

第314回

5月29日(日) 14:30 開演 (開演時刻にご注意ください)

● 神戸学院大学吹奏楽部 第25回サマーコンサート
音楽監督／松井隆司

第315回

6月4日(土) 15:00 開演

● 佐久間聡一 (ヴァイオリン)
藤井快哉 (ピアノ)

デュオの午後

第316回

6月10日(金) 17:00 開演 (開演時刻にご注意ください)

● 演劇公演 くじら企画『山の声』
作・演出原案＝大竹野正典 演出＝くじら企画制作部
出演＝戎屋海老、村尾オサム (遊劇体)

第317回

7月9日(土) 15:00 開演

● 仲道郁代 ピアノ・リサイタル

ー モーツァルト ピアノ・ソナタ全曲連続演奏 第7回 ー

会場／神戸学院大学 有瀬キャンパス メモリアルホール(9号館6階)

主催／神戸学院大学 後援／兵庫県、(財)神戸市民文化振興財団 参加／関西元気文化圏

- お申込方法 | 往復ハガキを使用してください。私製ハガキや2枚のハガキの貼り合わせは避けてください。申込者多数の場合は抽選になります。
- ・ 往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。
 - ・ 返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
 - ・ 返信表面は空白のままにお願いします。
 - ・ 1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。
 - ・ 受付期間は各公演の1ヶ月前～2週間前(必着)です。
 - ・ (※土曜日の場合は月曜日、日曜日・祝日・休日の場合は翌日)
 - ・ 学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。

～個人情報取扱について～

入場申込往復ハガキにご記入いただいた個人情報は、電話での申込内容の確認、入場券の発送(抽選の場合の結果通知含む)、申込状況の統計分析に限って使用します。

- お申し込み・お問い合わせ先
〒651-2180 (郵便番号のみで到着します)
神戸学院大学グリーンフェスティバル係

電話078-974-6105 (担当部署：企画部 広報・渉外グループ)

- 交通経路と所要時間

- ① JR「明石」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約20分)
- ② 神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より「神戸学院大学経由明石駅行」バスに乗車(約10分)
- ③ JR「朝霧」駅より神姫バス「神戸学院大学行」に乘車(約10分) <(注) 運行本数少
お車での来場は固くお断りいたします。

<http://www.kobegakuin.ac.jp/>

関西から



入場無料

ご案内

グリーンフェスティバルは、地域の方々や本学の学生・教職員に一流の舞台芸術に接していただくべく、毎年春と秋に各5～9回の公演を無料で提供しています。西欧のクラシック音楽、多種多様な演劇、ダンスなどを中心に国内外のアーティストを招き、非常に高いレベルの、また一般の催しとは一味違うものを提供することを念頭におき、その独自性が高く評価されています。

平野玲音・村本麻里子 デュオの午後

- 曲目 ● ハイドン…………… アダージョ(交響曲第13番 より)
● ベートーヴェン…………… チェロとピアノのためのソナタ 第3番 イ長調 作品69
● ダンツィ…………… モーツァルト《ドン・ジョヴァンニ》からの主題による変奏曲
● パラディス…………… シシリエンヌ
● フンメル…………… チェロとピアノのためのソナタ イ長調 作品104

新進の演奏家をご紹介しますシリーズのひとつ。平野さんは音楽大学の出身ではないのですが、ご両親がチェリストであることから幼少よりチェロを学ばれ、ヴィーンへ留学して磨きをかけられました。現在もヴィーンに在住です。コンクールをめざして、というような形ではなく、ごく自然に「音楽家」に育った…とはお父上の弁ですが、その長所がよく出ているアーティストとしてご紹介する次第です。モーツァルトにはチェロの作品がほとんどなく、多くのチェリストが口惜しがるところなのですが、そのモーツァルトを陰の主演として、彼と交友を持った作曲家たちの作品を集めた…とのことで、ベートーヴェン以外の4曲はグリーン・フェスティバル初登場の曲です。お相手の村本さんは2005年春、2006年秋に続いて3回目のグリーン・フェスティバル登場です。

神戸学院大学吹奏楽部 第25回サマーコンサート 音楽監督／松井隆司

- 曲目 ● 神戸学院大学学歌『緑漲る』
● 2011年度全日本吹奏楽コンクール課題曲・自由曲 他

今年度のサマーコンサートは従来とは趣向を変え、大人から子どもまで多くの皆さまに満足していただける企画を用意しています。『また来たい!』『楽しかった!』と思っていただけるように部員一同、精一杯演奏いたします。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

詳しい情報はこちらへ <http://sound.jp/sininbrass/>

佐久間聡一・藤井快哉 デュオの午後

- 曲目 ● タルティーニ…………… ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ 短調《悪魔のトリル》
● J.S.バッハ…………… 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第3番 ハ長調 BWV.1005
● クライスラー…………… 道化役者のセレナード/ジプシーの女/シンコペーション
● ショーソン…………… 詩曲 作品25
● ベートーヴェン…………… ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第6番 イ長調 作品30-1

佐久間さんは田中美奈さんと共に大阪フィルハーモニー交響楽団の第2ヴァイオリン・トップ奏者として活躍中ですが、忙しいオーケストラ活動の合間を縫って室内楽活動にも力を入れておられます。曲目についてはまだグリーン・フェスティバルで紹介していないソナタをひとつ入れてくださいとお願いしたら、タルティーニを選ばれました。昔からよく知られている曲ですが、この頃はヴァイオリンの会でも余り見かけません。ショーンもヴァイオリンの名曲であるにもかかわらず、初登場です。変化に富んだプログラムをお楽しみください。藤井さんは2004年春にソロ・リサイタルをお願いしたのに続いて、久しぶり2回目の登場です。

演劇公演 くじら企画『山の声』

作・演出原案＝大竹野正典 演出＝くじら企画制作部 出演＝戎屋海老、村尾オサム(遊劇体) 音響＝大西博樹 照明＝林 鈴美
舞台監督＝谷本 誠 制作＝塚本 修、後藤小寿枝

くじら企画は、大竹野正典氏が劇団という形にとらわれず、演りたい時に演りたい人と演りたい場所で公演を打つために設立されたグループです。1997年の設立以来、大阪を中心に上演を重ねてきました。今回上演する『山の声』は、そのくじら企画が2008年に初演した昭和初期の登山家、加藤文太郎を主人公とする作品です。命を賭して厳冬の槍ヶ岳を登ろうとする男の孤独な心情を、大竹野氏は骨太にまた哀しく描き出しています。そして舞台に現出する冬山の美しさと崇高さは、加藤文太郎のみならず観客である私たちをも魅惑するのです。第16回(2009年)OMS戯曲賞大賞受賞。「山岳演劇」の傑作、ご期待ください。

仲道郁代 ピアノ・リサイタル

- 曲目 ● モーツァルト…………… フランスの歌《ああ、ママに言うわ》による12の変奏曲 ハ長調 K.265
(きらきら星変奏曲)
● モーツァルト…………… ピアノ・ソナタ 第16番 ハ長調 K.545
● モーツァルト…………… ピアノ・ソナタ 第8番 イ短調 K.310
● モーツァルト…………… ピアノ・ソナタ 第11番 イ長調 K.331(トルコ行進曲つき)
● モーツァルト…………… ピアノ・ソナタ 第18番 ニ長調 K.576

26回目の出演、ますます快調の郁代さんによるモーツァルトの連続演奏は前回でソナタについては一通り終わりましたので、今回は当初から再演ものを加えてのプログラミングを考えておられ、前回のときにお客様からリクエストを募りました。その結果を郁代さんにお知らせして「これをご参考に」と申しあげたら、なんとリクエストの上位5曲で組んでくださいました(K.576がベスト5に入ったのはやや意外でしたが、当日演奏された曲であるからかもしれません)。圧倒的に人気のあるトルコ行進曲つきのソナタを初めとしてポピュラーな曲が並びました。どうぞご期待ください。

出演者の希望で曲目が変更されることがあります。ご了承ください。